
血液透析患者における非観血的Hb測定装置 Pronto®の有用性

医療法人衆和会 長崎腎病院

○上川阿郁、田川秀明、内野拓寿、矢野利幸、高木伴幸、澤瀬健次、原田孝司、船越 哲

【目的】

Masimo 社製 Pronto®が簡易的な Hb 測定器としての有用性を検討する。

【対象・方法】

血液透析患者 88 名(男 53 名、女 35 名、平均年齢 67.8 歳、平均透析歴 8.4 年)に Pronto®を用いて SpHb®を測定し、実測 Hb 値との相関および乖離率を調査した。また、実測 Hb 値を 10g/dL 未満、10-12g/dL、12g/g/dL 以上の 3 群に分類し、性差、DM の有無、透析歴等の患者背景との関連性を調査した。

【結果】

全症例の SpHb®と実測 Hb 値には中等度の正の相関が認められた。(R=0.44)PI 値との関連性は認められなかった。SpHb®は実測 Hb 値より平均 1.25g/dl 程度高く測定され、値の乖離率に有意差は認められなかったものの 12g/dl 以上群で最も差が大きかった。【考察】

今回、SpHb®は簡易的な Hb の目安値として代用でき、特殊な技術を要せず誰でも迅速に測定できる Pronto®は透析現場における簡易 Hb 測定機器として有用である可能性が示唆された。